



次第に指が曲がってきて伸びない、顔を洗おうとすると指が伸びないので鼻の穴に指が入ってしまう

追記箇所

す。

治療法は病氣の重症度によって異なります。当院では重症度、予測される神経の回復具合によってきめ細かく治療法を変えており、非常に良好な治療成績を誇っています。自分はひょっとしたら手根管症候群かも、と思われる方、一度当院外来でご相談ください。

●指が曲がってきて伸びない——デュピュイトラン拘縮こうしゆく

女性に多い病氣の次は、男性に多い病氣を取り上げます。手のひらに硬い「スジ」のようなものができてきて、次第に指が曲がってきて伸びない、顔を洗おうとすると指が伸びないので鼻の穴に指が入ってしまう——思い当たることはありませんか。そしてゴルフのし過ぎだからしょうがないかな、なんてあきらめていませんか？ このような場合、デュピュイトラン拘縮という病氣の可能性があります。原因は不明ですが、男性に多いとされています。

手のひらにある筋膜や靱帯が硬くなってしまい、それに指が引っ張られて関節が伸びなくなってしまう。指を伸ばせなくなることで指が問題で、指を曲げることは普通にできます。痛みはありません。

治療法は基本的には手術です。早いうちに手術を行うと成績が良いとされていますが、指の真ん中の関節まで曲がってきてしまっていると手術をしてもあまり伸びるようにならないったり、再発してまた指が曲がってきたりするとされています。早めに受診されたほうが良いかもしれません。

2015年7月にデュピュイトラン拘縮を注射で治すという新しい治療法が承認されました。堅くなった筋膜を溶かす薬(コラゲナーゼ)を注射します。症例によつては手術と同様の成績が得られるとの報告があり、この一年ほどの間にデュピュイトラン拘縮に対する手術件数は激減したそうです。ただし、この注射で指を曲げる腱が切れてしまうなどの合併症が報告されており、日本手外科学会認定手外科専門医のみがこの治療を出来ることになっています。